

BL32B2 創薬産業ビームライン (蛋白質構造解析コンソーシアム)

1. はじめに

創薬産業ビームラインBL32B2（創薬産業BL）は、日本製薬工業協会の加盟会社から構成される蛋白質構造解析コンソーシアム（蛋白コンソ）によって設立され、2002年9月から利用されている。

2. 報告事項（2008年4月～2009年3月）

2008年度の蛋白コンソ加盟会社数は20社^[脚注]である。

創薬産業BLの維持管理および事務局運営はそれぞれJASRIおよびSAI（株）に委託することにより、会員企業の負担軽減と活動および運営の合理化を実現している。

2008年度は利便性向上のため、タンパク結晶交換用ロボット（SPACE）、クライオ吹き付け装置およびコリメータの自動退避機構を導入した。また、より高精度な医薬品（粉末および錠剤試料）の粉末X線回折測定を目的とし、高速スピナーおよび錠剤測定装置の試用を行った。

創薬産業BLにおいて、加盟会社に限定した代理測定を2008年4月から開始した。

理化学研究所との共催で、2008年11月に医薬粉末構造解析講習会Ⅰを開催した。

2-1 2008年4月～9月

- 4月 代理測定（加盟会社限定）開始
SPring-8利用推進協議会研究開発委員会/神戸
- 5月 産業技術総合研究所との情報交換会
- 6月 第16回総会（定期）および講演会
SPring-8利用推進協議会総会/神戸
- 9月 SPring-8第5回産業利用報告会

2-2 2008年10月～2009年3月

- 10月 SPring-8シンポジウム
錠剤測定装置の検討開始（創薬産業BL）
- 11月 医薬粉末構造解析講習会Ⅰ（理化学研究所と共催）
- 12月 第17回総会（定期）および講演会
- 2月 高速スピナー（粉末X線回折用）の検討開始（創薬産業BL）

3. 創薬産業BLの利用状況

2008年度の利用実績を図1に示した。

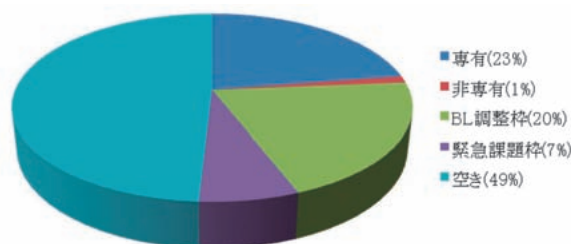


図1 2008年度の利用実績

蛋白質構造解析コンソーシアム

鈴木 健司

[脚注] 2008年度蛋白質構造解析コンソーシアム加盟会社
(20社、五十音順)

味の素株式会社、アステラス製薬株式会社、エーザイ株式会社、大塚製薬株式会社、キッセイ薬品工業株式会社、協和発酵キリン株式会社、塩野義製薬株式会社、大正製薬株式会社、大鵬薬品工業株式会社、第一三共株式会社、大日本住友製薬株式会社、武田薬品工業株式会社、田辺三菱製薬株式会社、中外製薬株式会社、帝人ファーマ株式会社、日本新薬株式会社、日本たばこ産業株式会社、万有製薬株式会社、明治製菓株式会社、持田製薬株式会社